

もみじの秋 学習の秋

9月1日に『東京都手話言語条例』が施行され、10日には『2025年デフリンピック』の東京開催が決まりました。今秋スタートのドラマ『silent』も大きな話題になっています。こちらはいわゆる視聴率は高くないのですが、SNSと見逃し配信が記録的な数字を出しているそうです。イマドキですね。また、ベネチア国際映画祭では、深田晃司監督の映画「LOVE LIFE」が、最高賞を競うコンペティション部門にノミネートされました。受賞はなりませんでしたが、砂田アトムさんが言うように「ろう者を特別扱いしていない映画」として注目されています。

そんなこんなで「聴覚障害」「手話」などが検索ランキングの上位に上がったり、手話についての問い合わせが手話通訳事業所に殺到したりと、世の中がそわそわしています。手話の学習を始めたきっかけが「テレビドラマ」だった方も多いでしょう。「星の金貨」「愛してると言ってくれ」「君の手がささやいている」「オレンジデイズ」……。一時の流行のように盛り上がりはすたれるを繰り返してきた感じがしますが、やっとこの時期が来ました。手話は言語、今や多様性の時代であることを否定する人はいないでしょう。長く活動してきた地域の手話サークルとして、正しい理解の広がることを願い目指し、地域の聴覚障害者とともにこのチャンスをがっちりつかんで活動しましょう。それにはまず学習、何よりも学習。聴覚障害について、手話について正しく説明ができるように学習を積み重ねていきましょう。(S)

手話サークルもみじ今後の予定

- 11月17日(木) 10時~12時
福祉センター地下研修室
 - 11月24日(木) 10時~12時
福祉センター地下研修室
 - 12月1日(木) 10時~12時
福祉センター2階作業療法室
 - 12月8日(木) 10時~12時
福祉センター2階作業療法室
 - 12月15日(木) 10時~12時
福祉センター2階作業療法室
 - 12月22日(木) 10時~12時
福祉センター2階作業療法室
- クリスマス会

※お問い合わせ shuwamomiji30@yahoo.co.jp

今後、政府の発令などにより活動が変更する場合があります。メルマガやメールでご確認ください。

役員より

11月10日、秋の交流会で東大和市にある都立薬用植物園に行った。参加者は、ろう協から2人、福手の会から1人、もみじから5人の計8人。青空のもと広々とした庭園を散策した。専門のガイドからおもしろい話がたくさん聞け、有意義で楽しいひと時を過ごした。

この時期、草本(そうほん)の花期は終わり、ほとんど枯れてしまっていた。そんななかで気高く清く咲いていたのは、竜胆(りゅうたん)、千振(せんぶり)、鳥兜(とりかぶと)、山路野菊(やまじのぎく)だった。歌のとおりみんな薄紫だった。

とりわけ輝いていたのは野菊。そして私たちはその花を囲んで記念写真を撮ったのだった。場所は地味だけど、奥深い勉強ができて満足でした。企画してくれた会長に感謝。(K)

手話サークルもみじ 秋の交流会 報告

11月10日(木)秋晴れ。もみじ恒例の「秋の交流会」今年は、東大和市にある「東京都立薬用植物園」に行ってきました。手話サークルもみじで電車に乗ってのおでかけは3年ぶりです。

コロナ渦でアクティブに出かけるのを控えて近場で満足していたのですが、企画時は感染者もだいぶ少なくなっていたので、思い切って少し足を延ばしてみよう！となりました。

施設の前は通ったことあるけれど見学したことがある人が少ないということで即決定。参加者は8名。今回、手話通訳養成講習会の受講生の初の試みの実習も兼ねていました。ガイド付きの案内はどんな展開になるか予想がつかず参加者みんなでドキドキと当日を待ちました。園内は初秋ということもあり咲いている花は少なかったですが、ガイドさんのすばらしい説明で枯れている花や土の中の根さえも生き生きと感じられました。

薬用植物園は漢方薬や民間薬に使用されるものが栽培されていて、どの部位が？ 効能は？ など初めて知ることばかりでした。敷地が広く、160種類以上のさまざまな薬用植物を見られるので、これからは四季折々で訪ねたいと思いました。

今年も無事に交流会が終えられてほっとしています。参加の皆さんありがとうございました。楽しかったですね。(I)



中央に咲いているのが「ヤマジノギク」です